

令和 2 年 7 月 13 日  
総合教育会議資料

体罰根絶に向けた有識者会議「議論のまとめ」を受けた  
教育委員会の今後の推進方針について

昨年度の市立尼崎高校男子バレーボール部をはじめとする一連の体罰事案を受け、今後の「根絶」に向けた市をあげての取組に向けて、専門的見地からの意見を受けるため設けられた本有識者会議は、昨年 7 月以来、6 回にわたる会議及び 2 月の総合教育会議との合同開催の場を経て「議論のまとめ（案）」を整理してきたところであるが、このたび有識者会議各委員の最終確認を経て当該「議論のまとめ」が成案としてまとめ、別添 1 のとおり令和 2 年 6 月 30 日に教育委員会に提出された。

今後、本「議論のまとめ」で示された様々な課題や提言について、「体罰のない社会を実現するための基本方針」の趣旨も踏まえた上で、次のような体制で各項目に応じた具体的な取組方針を構築し、順次推進していくものとする。

また、当該取組内容及びその進捗状況については、教育委員及び総合教育会議に対し定期的に報告を行うとともに、HP においても公表する。

1 全体調整及び進行管理の推進組織

教育委員会「体罰根絶プロジェクト推進本部」

2 具体的項目に係る内容の調整方法

有識者会議から提言を受けた各項目について、別添 2 の「(仮称) 教育委員会体罰根絶アクションプラン」として整理し、当該プランに基づく取組内容や取組スケジュールについて、プロジェクト本部の下に設ける作業チームにおいて調整し、着実に推進を行っていく。

(参考) 令和 2 年度の「体罰根絶プロジェクト推進本部」及びプロジェクト作業チームの体制図については別添 3、市立尼崎高校体育科カリキュラム改革の方向性等については別添 4 のとおり

以 上